整理番号：1382450
製品名：絶縁ｸﾛｽ
改訂日：2015 年 6 月 1 日

安全データシート(SDS)

1．製品および会社情報

会社名	：	昭石化工株式会社
住　所	：	東京都港区台場 2-3-2（担当部門：営業部）
電話番号	：	03－5531－7063（Fax03－5531－6811）

製品名　　絶縁クロス

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類	：	分類基準に該当しない。
危険性	：	常温の取扱いでは特に危険性はない。 加熱加工時は、高温のため分解ガスが発生する可能性もあるので、注意を要する。 粉じんは、爆発混合気を生成する場合がある。
有害性	：	生理学的に不活性であり、人体への特別な毒性作用はない。
環境影響	：	野外に漏出した場合、鳥等の動物が飲み込み窒息する可能性があるので、廃棄や漏出には注意を要する。

ＧＨＳラベル要素

絵文字またはシンボル	：	なし
注意喚起語	：	なし

危険有害情報

化学物質等の分類（日本方式）	：	分類基準に該当しない。
危険性	：	高温になると引火、燃焼しやすくなる。
特定の危険有害性	：	知見なし。

注意書き

安全対策	：	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 粉塵／ミスト／ヒューム／ガス／蒸気／スプレーを吸引しないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 必要な個人用保護具を使用すること。使用後はよく手を洗うこと。
救急処置	：	火災の場合には、消火に粉末、二酸化炭素、泡消火器を使用すること。 飲み込んだ場合は、水で口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。可能ならば吐き出させる。 皮膚または髪に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取り除くこと。 多量の水と石けんで洗うこと。 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当を受けること。 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当を受けること。
保管	：	直射日光、雨水を避け、火気のない屋内で保管すること。屋外ではシート養生すること。
廃棄	：	内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成，成分情報

単一製品・混合物の区分	：	単一製品
化学名（一般名／別名）	：	ポリエチレン（防水材用クロス）
成分及び含有量	：	エチレン・１－ブテン共重合体

成分名	含有量（%）	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	PRTR 法
ｴﾁﾚﾝ･1-ﾌﾞﾃﾝ共重合体	100	$(C2H4)_m$･$(C4H8)_n$	25087-34-7	化審法 6-18/安衛法 該当せず	該当せず

４．応急処置

目に入った場合	：	大量の流水で十分洗眼、洗眼の際、眼球とまぶたの隅々まで洗浄し、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼刺激が持続する場合は、速やかに医師の診察、手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：	常温の場合、特に危険はない。溶融樹脂がついた場合は、直ちに大量の水で冷やす。 かゆみ、炎症、火傷等があれば医師の診断を受ける。
吸入した場合	：	空気の新鮮な場所へ移動して寝かせる。必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	：	直ちに吐き出させる。多量に飲み込んだ場合は医師の診断を受ける。

５．火災時の措置

消火剤	：	水、粉末・二酸化炭素・泡消火器
特定の消火方法	：	付近の着火源を断ち、保護具を着用して風上から消火する。
消火を行う者の保護	：	保護衣を着用する他、状況に応じ防火用手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
火災周辺の措置	：	火災周辺は、関係者以外立入り禁止とする。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項	：	通常の取扱い範囲では漏出しない。床面にあるクロス片は、足を滑らせ転倒させる可能性があるので、掃き集め、吸い取り、容器に回収する。
環境に対する注意事項	：	屋外に散乱した場合は、風などで飛び、電線に絡みつく等の二次災害の発生の恐れがあるため、速やかに集めて処分する。
除去方法	：	袋などの入れ物に回収し、安全な場所に移す。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	：	水分、湿気、強酸化剤、熱源、火源との接触を避ける。
取扱者の暴露防止	：	保護手袋等の保護具を着用する。取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行う。
安全取扱注意事項	：	高温暴露、水濡れを避ける。

保管

技術的対策（保管条件）	：	直射日光や雨水を避け、火気のない室内に保管する。乱暴(落下,衝撃,引きずる等)な取扱いをしない。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策	：	状況に応じて取扱い場所の近くに洗眼、洗顔および身体洗浄のための設備を設ける。

適切な保護

呼吸器系の保護	：	状況に応じて粉塵用マスク
手の保護具	：	保護手袋
目の保護	：	状況に応じて粉塵用保護眼鏡
皮膚及び身体の保護	：	長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態　形状	：	紙管などに巻いた繊維状シート(クロス)
色	：	白色
臭気	：	なし
ＰＨ	：	該当せず
融点	：	125～140℃
発火点	：	400℃＜　(推定)
爆発特性	：	情報なし
密度	：	0.94～0.97(g/cm^3)
溶媒に対する溶解性	：	水に不溶

１０．安定性及び反応性

安定性	：	通常の取扱い条件においては安定。300℃以上の高温で分解し、炭化水素およびその酸化物(アルデヒド、酸、アルコール等)を生成する。
反応性	：	反応性なし
避けるべき条件	：	水分、湿気、強酸化剤、熱源、火源との接触を避ける。
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素およびその酸化物が生成される。

１１．有害性情報

急性毒性	：	現在のところ知見なし。
局所効果	：	現在のところ知見なし。
慢性毒性	：	現在のところ知見なし。
発がん性	：	現在のところ知見なし。IARC の発がん性区分；ｸﾞﾙｰﾌﾟ 3(人に対する発がん性について分類できない)

１２．環境影響情報

生体毒性	：	有用な情報なし
残留性、分解性	：	長期間残留する、生分解性なし
生体蓄積性	：	有用な情報なし
土壌中の移動性	：	土壌中では移動性はない

１３．廃棄上の注意

以下の情報を参考に分類の上、自社による処理または許可を受けた専門業者に処理を委託する。詳細は法律（廃掃法及び容器包装リサイクル法）に従う。

種類別注意	：	本品は安定型産業廃棄物に分類される。
容器・包装の廃棄	：	空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収する。 （ ）に管理型・安定型の区分を示す。 外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理。（単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物） 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。） プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：廃プラスチックとして処理（単独で安定型産廃、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。）

１４．輸送上の注意

輸送の特定の安全対策	：	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
及び条件		水濡れ、異物混入、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。
陸上	：	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上	：	船舶安全法に定めるところに従うこと。非危険物。
航空	：	航空法に定めるところに従うこと。非危険物。
国連分類・番号	：	非該当

１５．適用法令

法規制	：	化学物質管理促進法（PRTR 法）及び労働安全衛生法 57 条の 2 通知物質の該否については 3. 組成、成分情報内に示す。
		毒劇物取締法　：　該当しない
		消防法　：　指定可燃物(合成樹脂類 3000kg 以上の場合)
		廃掃法　：　産業廃棄物、廃プラスチック類

１６．その他の情報

引用資料	：	日本化学工業協会「製品安全データシートの作成指針（改訂版)」
参考文献	：	JIS Z 7250 化学物質安全データシート（ＭＳＤＳ）
		日本工業規格 JIS Z 7252(2014)　GHS に基づく化学物質等の分類方法
		国連 GHS 文書　改訂 5 版　(2013)
		独立行政法人　製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ　GHS 分類結果データベース
		日本産業衛生学会：許容濃度の勧告（2002)
		「化学品安全管理データブック」(化学工業日報社)
含有量表示基準	：	PRTR 指定物質及び劇毒物は有効数字 2 桁。労安通知物質その他は 5%刻みの未満表示（10%未満の場合は 1%刻み）で表す。

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。なお、新しい知見により改訂されることがあります。

・危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないでください。